常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。
委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

【2月17日報告】

＊**まち・ひと・しごと創生推進基金**について、企業版ふるさと納税の寄附金は中小企業の成長促進など地方創生に活用されたい。また、それぞれの基金積立金についても、目的、計画に沿った適正な運用に取り組まれたい。

＊**ふるさと寄附金受入推進事業**について、伝統芸能や日本平からの景観を楽しめる来訪型・体験型の返礼品も検討されたい。

【3月18日報告】

＊**コンプライアンス推進**について、法令遵守に向け、研修の実施などの万全な取組や、業務の適正さを確保するための内部統制の確立を求める。

＊**シティプロモーション推進事業**は、移住・定住推進事業や、観光促進事業とも密接に関連する事業であるから、本市が移住先として選ばれ、憧れの都市となるよう事業を推進してほしい。

＊**アリーナ誘致推進事業**について、具体的な整備手法や財源構成の検討に当たり、コスト面での懸念もあるため慎重な対応と、確かな需要予測のもとに市民に受け入れられる事業スキームの構築を求める。また、交通対策などについて丁寧な情報提供に努められたい。

＊**SDGs推進事業**について、SDGsユースサミットが国連のHPに掲載されるなど、素晴らしい取組をしているので、積極的に情報発信されたい。

厚生委員会

【2月17日報告】

＊**新型コロナウイルスワクチン接種事業**は、5歳から11歳の子どもへの接種開始に伴い、保護者や学校の理解が大切であることから、これら関係者との連携に努められたい。

＊**保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業**に関連して、コロナ禍の中、最前線で勤務する保育士等の処遇改善が単年度で終わらないよう、引き続き財源確保に努められたい。

【3月18日報告】

＊**自殺対策事業**について、多職種によるワンストップでの相談やオンラインでの相談会の実施、さらに身近な支援者であるゲートキーパーの養成研修の充実など、悩みを抱える市民の自殺防止に努められたい。

＊**児童クラブ運営事業**について、4年度から医療的ケア児の受入れを開始するが、対象児童の実態把握と安心してサービスが受けられるような環境整備に努められたい。入会者の保護者負担金のコンビニ収納等を進め、保護者の利便性向上や現場の負担軽減にも努められたい。児童クラブの運営方法等が市内で統一されていないことについては、地域の意見を聞きながら今後の在り方を検討されたい。

＊3年度に比べ予算を倍増させた**結婚新生活支援事業費助成**について、申請状況に対応できるよう、今後どのような対策が必要か検討されたい。

＊**国民健康保険条例の一部改正**は、未就学児の保険料の被保険者均等割額の減額を評価するが、保険制度維持のための公的支援については、国への要望をさらに強めてほしい。

都市建設委員会

【2月17日報告】

＊**バス路線維持費助成**について、バス路線の健全化は、市民生活に直結する問題であるため、現状の把握から今後の対応までを確実に行い、市民の生活を守っていただきたい。

＊**河川台帳電子化事業**は、災害時の早期復旧や効率的な業務遂行に資するものであり、流域治水を着実に進められたい。

＊**橋りょう整備事業**について、橋りょうの維持補修に膨大な経費がかかるため、予防保全型への転換を進めコスト削減に努められたい。

【3月18日報告】

＊**草薙駅前通線整備事業**について、市民が有意義に活用できる魅力的な空間にしていただきたい。また、近隣の中之郷9号線について、学生が多い土地柄を考慮し、歩行者の安全を確保できるような空間整備を求める。

＊**静岡都心地区まちなか再生事業**については、中長期的な視点に立って、民間主体による賑わいづくりの実現に向け、その礎となる人材育成に特に力をいれてほしい。

＊**公園・緑地等維持管理事業**について、公園は住民の憩いの場であるため、高齢者や家族連れにも優しい、駐車場が完備された公園の整備を求める。

＊**地籍調査事業**と**急傾斜地崩壊対策事業**は、緊急性の高い地域から優先的に早期の対応を求める。

＊**河川構造物耐震・津波対策事業**は、河川の氾濫を抑えるための対策であるから、災害時に迅速に対応できるよう日頃の整備に尽力いただきたい。

※観光文化経済委員会に提出された修正案については、4面参照。

市民環境教育委員会

【2月17日報告】

＊**登録、証明書交付事業**について、多くの人がマイナンバーカードを活用した転出・転入手続きのワンストップ化を利用できるよう、他の自治体の事例も参考にしながら、マイナンバーカードの交付率の向上に努められたい。

＊ZEH化の推進は、脱炭素化への大変重要な取組であるため、より多くの人が**地球温暖化対策事業補助金**を活用できるよう、様々な工夫をして取り組まれたい。

＊**教育用情報機器整備事業**について、市立高等学校に導入予定のパソコンの仕様の見直しと、継続的に機器の更新を行い、生徒が最新技術に触れて学べる環境を整備されたい。

【3月18日報告】

＊**パートナーシップ宣誓制度**の導入は素晴らしい取組であるが、新しい制度であるため、制度の運用に当たっては、様々なケースを想定し、丁寧に対応されたい。

＊2050年温室効果ガス排出実質ゼロの達成に向け、**地球温暖化対策関連事業**は、50年後、100年後のあるべき姿をイメージして着実に取組を進められたい。また、来年度策定する**第3次静岡市環境基本計画**は、市の環境政策の総合的な方向性を示す計画であるため、気概を持って策定作業を進められたい。

＊**静岡を食べよう！おいしい給食提供事業**は、調理師などを招いた調理実習の体験や、学校給食に関する情報を集約した総合サイトに、静岡ならではの献立のレシピを載せるなど、家庭でも給食を楽しめる工夫をされたい。

観光文化経済委員会

【2月17日報告】

＊**まちは劇場TRY'22開催事業負担金**について、支援対象を幅広に捉え、開催基準を明確にした上で連動する他事業とともに周知し、多くの市民が参加できるよう図られたい。

＊**静岡市民文化会館再整備基本設計業務経費**について、再整備は市民の声が反映された整備方針であると評価するが、本市は2つの文化会館を有することから二重投資とならないよう、イベントのすみ分けなどを勘案して整備するとともに、今後の整備の進捗状況を積極的に発信されたい。

【3月18日報告】

＊**ナイトツーリズム推進事業**は、夜景観光のPRと波及効果に期待する。観光客の滞在時間の延長や、宿泊客数の増加のため、関係事業者からの意見聴取や、数値目標の設定などにより、しっかりと事業評価されたい。

＊コロナ禍で大きなダメージを受けた**中小企業、個人事業主への寄り添った支援**の継続や、飲食店だけでなく、納入業者などに対する支援の拡充を求める。

＊**修正案**については、収支予測や経済波及効果に対する懸念に加え、現在のコロナ禍という社会情勢を勘案すると事業を一時止めて議論を深めることも重要であることから賛成するとの意見や、令和4年2月28日に静岡商工会議所・清水区自治会連合会等多くの団体から海洋文化施設の早期整備にかかる要望書が提出されており、市民の声に誠実に応えていくことや、公民連携でアフターコロナへの対応が必要であるなどの理由から反対するという意見があった。

企業消防委員会

【2月17日報告】

＊**消火栓の設置**は、上下水道局の工事と一体で行う事業のため、連携して進められたい。また、葵消防署の大規模改修工事で拡充された**緊急防災・減災事業債**は有利な財源であるため、今後も施設整備のために活用してほしい。

＊**安定した上下水道経営**のため、適正に業務を執行されたい。

【3月18日報告】

＊新たに警防部に**安全対策課**や、各消防署に**安全指導**を担当する部署が設置されることから、職員のメンタルヘルスにも配慮した上で安全な環境で業務に臨まれたい。

＊**消防団員確保対策事業**について、団員のなり手不足の解消に向け、創設する出動報酬制度の活用、機能別団員の入団促進などを進められたい。

＊第4次静岡市上下水道事業中期経営計画を次期計画へつなぐため、デジタル技術の活用やアセットマネジメントの推進による効率的な事業運営、適正な企業債管理、新たな収益確保など、**財政の健全化**を一段と進められたい。特に、デジタル技術の活用について、**スマート水道メーター**は独居高齢者の見守りなどの付加価値があり、中山間地での検針の効率性向上も見込まれることから、費用対効果の検証を含め、導入に向け取り組まれたい。

＊**浸水対策事業**について、豪雨災害で致命的な被害とならないよう、建設局との連携・調整を図るとともに、流域治水を基にした浸水対策を一層推進されたい。

中山間地調査特別委員会が提言書を提出しました

中山間地調査特別委員会が令和4年1月12日に田辺市長に提言書を提出しました。

提言書の内容は、オクシズの持続可能な発展を目指した振興策に関する4つの提言とオクシズの喫緊の課題に関する2つの提言をまとめたものです。